

No.168



2023.Autumn

龍谷の教育

〒840-0054 佐賀市水ヶ江3-1-25 電話 0952-24-2244 FAX 0952-24-3828 URL <https://www.sagaryukoku.ed.jp>

龍谷祭

2023テーマ

「～努力の花は咲く 龍谷魂～」





振風会総会・懇親会を終えて

教頭 原田 淳

年に総会・懇親会が開催されています。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響から、令和元年以来中止を余儀なくされていました。その間、振風会会長杉町様をはじめ、副会長、実行委員の皆様など、企画運営に関わられていました方々にとつては、非常にやるせない思いを抱かれていたかと思います。

総会・懇親会の中止は、私にとつても非常に複雑な心境でした。中止となつた令和2年の実行委員として中心となるのが平成元年の卒業生であり、私が龍谷高校野球部監督として赴任した年の教え子たちであつたからです。令和元年の懇親会の最後に、令和2年を引き継ぐことになつた倉本実行委員長が「引き受けた以上は精一杯頑張らせていただきます」と、使命感を滲ませる挨拶をされていたもの、以来3年間の中止。何とも言えないもどかしさを抱えておられたと推察いたします。

今年5月、新型コロナウイルス感染症が第5類に移行されたこともあり、令和5年度振風会総会・懇親会を開催することが決定されました。開催できる喜びに、倉本実行委員長も、山口副委員長もほつとした様子でその成功に向けて走り出しました。「できるだけ多くの卒業生に参加して欲しい」との思いから懇親会は3千円のチケット制。ゲストに人気コンビ芸人のどぶろつく、佐賀ではおなじみのメガモツを迎えることに。基調講演は本校の卒業生で、佐賀県初の女流棋士として活躍されている武富礼衣さんにお依頼しました。そして8月19日、総会・懇親会当日は武富さんの講演で幕を開けました。演題は「龍谷の教えと将棋の道」です。龍谷の目指す生徒像である「凜として、朗らかに、爽やかに」

本校では、同窓会組織である「振風会」により、毎年8月、お盆後の土曜日に総会・懇親会が開催されています。しか

段から身につけているお念珠の存在、感謝の大切さについてお話ししていました。心の大切さについてお話ししていました。次に総会です。関西振風会から増田様も出席いただき、開催宣言、実行委員長挨拶、会長挨拶、校長挨拶、来賓挨拶と続き、議長の選出が行われました。次に令和4年度決算報告・監査報告及び令和5年度予算案について詳細に説明がなされ、それぞれに承認を得ることができました。出席者の皆様のご理解とご協力により議事が滞りなく進行できましたことをご報告いたします。

続いて物故者法要です。導師に続き、参加者全員で「正信偈」をお勧めいたしました。そして、懇親会実行委員の皆様の企画や広報の働きかけもあり、170名を超える参加者がとなりました。吹奏楽部によるオープニング演奏、乾杯のあとはゲストによるアトラクション。会場には大きな笑いが飛び交いました。

懇親会終盤には、吉松校長より学校説明を行いました。本校では変化し続ける社会を生き抜くための5+1の教育（キヤリア教育、ライフスキル教育、学力向上、グローバル人材育成、ICT教育、心の教育）を行っていました。特にICTの推進は県内では先を進んでいること。空手部男女のインターハイ出場やサッカーチームの選手権大会出場などの生徒の活躍が紹介されました。参加者の多くの方から「昔とは全然違う。進化しているね」といった声が漏れていきました。

コロナ禍のおかげで、当たり前が当たり前でないことに気づかされ、感謝の心（有難い）の大切さを多くの皆様が再認識されたことだと思います。今回、振風会総会・懇親会を開催することができたことで、一番に感じるのは「感謝」です。本校の教育を受けた卒業生・在校生にはどのような時代にあっても「感謝の心」を忘れないで欲しいと思います。令和6年度振風会総会・懇親会が今年度以上に成ることを心より念じております。

自分の意思や行動だけではなく他の大きな力に動かされ、今の自分があるのだと感じることが多くなってきました。約40年前、自分の志望とは異なる龍谷高等学校へ入学したことが、私の生活すべてを支える土台となつていています。私が龍谷高等学校へ入学したの

は、中学浪人しようかと考えていたとき、中学3年生の担任であったT先生（本校卒業生）から龍谷高等学校特別進学科（第1期生）への入学を勧められました。思議なものだなと思うことが続きました。教育実習で本校における振り返ると、縁というのは不思議なものだなと思うことが続きました。教師となることで母校の世話をなつたとき、当時のN校長先生（本校卒業生）から「来年、龍谷に来ませんか？」と声をかけてもらつたことで母校の教師となることができ、妻との出会いがありました。そして、妻の実家は、

同朋

※ 「一切のものやことは、互いにもろもろの因縁が合わさつて生じている」（互いにさまざまな原因や条件が合わさつて人も、いかなるものやことも成立している）という考え方を「縁起」（仏教の根底を成す思想）といいます。「縁起」という言葉を誤用されていることが多いようです。

学しました。仕事と勉強の両立は大変でしたが、令和5年10月に卒業式を迎えることができました。40数年間の有り難いご縁の連続が見えない大きな力となり、浄土真宗のみ教えを深く学びたいという気持ちへ導いてくれたのだと思っています。自分がそうしようと思っているわけではなく、誰かに説得されたわけでもないのに、自然とその

の意志や行動で創りあげていくものだと考えられている方が多いかなと思いますが、私は自分のはからいよりも、いくつもの縁によつて創られ、また縁によつて変化し続けていくのが人生なのかなと思うようになりました。これからも有り難いご縁を大切にしながら、そのものをありのままに見ていき、受け入れながら生きていいきたいと思っています。合掌

浄土真宗のお寺。職場、家庭で浄土真宗のみ教えがいつも近くにある生活が続いていきます。宗教に全く無関心だった私に、お念佛に向き合う妻、父母、兄の姿や宗門校という職場環境が私の淨土真宗のみ教えに対する向き合い方に少しずつ変化を与えてくれたような気がします。母校の宗教教育に対する危機感も重なり、令和元年、浄土真宗本願寺派の僧侶となり、令和2年には

宗教部・長田信一

真夏のオープンスクール「Create Your Colors」 部活動体験「Desire Your Colors」



真夏の暑い太陽が照りつけていた8月3日、4日で講座体験型オープンスクール「Create Your Colors」を実施しました。暑い中でしたが、早い時間から学校に来てくれた中学生。受けたい講座を2つ選んで体験をしてもらいました。模擬授業では、iPadを使った授業があったり、ゲーム形式で競い合う授業、実験があったり、龍谷で行われている授業を少しわかつてもらえたかな?と思います。「キムジード」の授業のテーマは「協働」。

みんなで協力しあって、意見を出し合って課題を解決していきます。最初は緊張の面持ちだった中学生も、解決に近づくにつれ笑顔があふれていました。生徒会企画では、学校中を走り回って、クイズを解き、気づいたら「龍谷マスター」になってくれていたようです。龍谷で創造できそうな自分の色、見つかりましたか？



8月5日、19日には部活動体験「Desire Your Colors」を実施。全国大会を目指す選手たちが多く来てくれました。暑さの中で少しばててしまう選手もいましたが、高校での部活動の厳しさや楽しさ、そして覚悟を感じ取ってもらえましたようです。

今年の龍谷のテーマは「Colors」勉強の色、部活動の色、友達と遊ぶときの色、きっとみんないろんな色を持っている。そして高校でいろんな色と混ざり合い、新しい色も生み出してもらいたい。そう願っています。

たくさんのご参加、ありがとうございました😊

(文責 不二見)



秋のオープンスクール「Think Your Colors」～龍谷模試～開催



最後のオープンスクールとなる龍谷模試。ここでは自分自身の色は今何色か？そしてどこを目指すのか？をしつかり考えてもらいたいと思います。特別進学コース、文理進学コース、総合コース、保育コース、それぞれの合格可能性を出します。今度の入試から、前期試験の問題が一つとなります。それを受けて、今回の模試でも同じ試験で全ての合格可能性を判定します。龍谷に行く！と決めたあなたも、まだ迷っているあなたも、今の自分の実力を確認してみませんか？午後からは「ICT授業体験」と「部活動体験（サッカー・剣道・柔道・野球）」を実施します。皆様のご参加をお待ちしています。

9月6日 文化祭

吹奏楽部、書道部のオープニングにはじまり、体育館では各団対抗パフォーマンスやカラオケ大会、1年生のクラス動画上映会などの体育館イベントが行われ、2年生は各クラスでのアミューズメント、3年生は前庭で様々なフードメニューをそろえた模擬店を運営しました。賑わいを見せた校内に、ようやく本来の「龍谷祭」が戻ってきたのを感じられました。

青春謳歌 龍谷祭

-3年ぶりにすべてのイベント完全復活!!-

龍谷中学、高校の一大イベント、龍谷祭が9月6日、7日に開催されました。コロナウイルス感染症が5類に引き下げられた今年は、これまで縮小されていたイベントもパワーアップして復活しました。コロナ禍で試行錯誤した龍谷祭運営のノウハウも活かしながら、3月から企画や調整を重ねてくれた生徒会、コロナ禍で様々なイベントの中止や縮小を余儀なくされてきた生徒たち、みんなのエネルギーを思い切り発散できた素晴らしい「龍谷祭」となりました。また、今年は入場制限をなくし、保護者や卒業生、近隣の方や親子連れの方などたくさんの人々に龍谷祭を楽しんでいただきました。(文責 平井な)

気持ちの良い青空の下、保護者や卒業生などたくさんの方に観戦していただきながら体育祭が行われました。体育祭も昨年までより種目が増え、生徒たちは思い切り声を出し、走り、素晴らしいパフォーマンスを見せてくださいました。人気種目「ウーマンパワー」は男子も参加できる「タイヤバトルロワイアル」としてパワーアップしたり、「部活動対抗リレー」は各部の種目の特徴を活かしたイベント性の高いリレーで楽しめさせてくれたりしました。最終レースの「陸上部 VS サッカー部 VS 野球部 VS 柔道部 VS サガソニカユース」は各チームの威儀をかけた見応えのあるレースでした。

総合優勝は青団。しかしながら、競い合うより、各団が肩を組みお互いの健闘をたたえ合う姿がとても印象的でした。

9月7日 体育祭

団長より一言

白団団長 吉田 爽汰(③東脊振)

龍谷祭を振り返って、私が一番印象に残っているのは演舞です。夏休みから準備、計画をはじめ、応援リーダーみんなでいろいろな意見を出し合って練習してきました。初めはどうなるかと不安でしたが、団員のみんなにたくさん助けてもらい、感謝しかありません。

団長として生徒と先生方の間に立ち、生徒から出てくるいろいろな意見と、先生方からのご意見が一致しないときはどう落としどころを作っていくのが悩みました。ただ今はそれも含め楽しい思い出となりました。

団長という立場はなかなか経験できるものではないので、このような経験ができた自分は幸せ者です。

1、2年生は来年、再来年とありますので龍谷祭を最高にはじけて楽しんで下さい。

先生方、龍谷祭の準備や運営ありがとうございました。そして母へ、夏休みから龍谷祭が終わるまで早朝からサポートしてくれてありがとう。直接言うのは恥ずかしいのでここで言わせて下さい。

白団で過ごした夏は最高の夏になりました。白団、そして龍谷まーじ大好きっす。

赤団団長 原田 侑弥(③柳川大和)

私はこの龍谷祭を終えてとてもいい経験をさせてもらい、成長できたと思います。なぜなら、団のみんなをまとめるこの難しさ、大勢の前でパフォーマンスをしたり話をしたりするという貴重な経験をさせていただくことができたからです。元々人前で話すことは得意な方ではなく、言葉につまるものもありましたが、これまでより自信がつきました。

来年度の龍谷祭は今年の龍谷祭を上回るくらい盛り上がってほしいです。団長をすることができてよかったです。龍谷最高！

青団団長 浦野 獅龍(③添田)

龍谷祭を振り返って一番の思い出は、総合優勝できたことはもちろん、全部の団で作り上げた最高の龍谷祭だなと思ったことです。団長として人の前に出て、みんなに伝わるように指示を出してまとめることができるようになったことは個人的な成長でした。青団は、はじめ練習がスムーズに進まないこともありましたが、最後はしっかりとまとめていい演舞になったところが集団として成長できたところだと思います。後輩達にはこれからも楽しく明るく元気な龍谷を作っていくために、学校のルールなどを守った上で、しっかり自分たちのやりたいことを楽しんでほしいです。暑い中龍谷祭の準備をしてくださった先生方ありがとうございました。生徒会の皆さんも、龍谷祭をどうやったら楽しくスムーズに運営できるかを考えて運営してくれてありがとうございました。

令和五年度 振風会総会・懇親会

8月19日(土) ホテルニューオータニ佐賀

龍谷中学校・高等学校同窓会「振風会」の総会・懇親会が8月19日(土)にホテルニューオータニ佐賀にて開催されました。コロナ禍を経て、今回4年ぶりの開催となつた総会・懇親会は170名を超える卒業生の方々にお越しいただき盛大に執り行されました。

本校卒業生で佐賀県初の女流棋士として活躍されている武富礼衣さんの基調講演にはじまり、総会、物故者法要が行われた後は、懇親会が開かれ、本校吹奏楽部の演奏やゲストの人気芸人によるアトラクションで大いに盛り上がりながら、参加者の皆様方は互いの親睦を深めていらっしゃいました。

(文責 平井な)



第1回龍谷フェスティバル

雨が心配されていた9月16日、見事に晴れた青空のもと「第1回龍谷フェスティバル」を開催いたしました。龍谷高校と龍谷こども園のコラボ企画で、いろんな方々に来ていただいて楽しんでもらおうという計画をしました。



特別ゲストに2012ミスインターナショナルグランプリに輝いた吉松育美さん、元サガン鳥栖の選手で現在はサガン・リレーションズ・オフィサーを務められている高橋義希さんにおいでいただき、生徒とのトークショーもしていただきました。プレッシャーに負けないにはどうしたらいいか、うまくいかないときにどんな切り替えをしてきたか、学生時代にどんなことに気を付けてきたかなど、生徒たちの質問に1つ1つ丁寧に答えてくださいました。



出店ブースでは、焼きそば、唐揚げ、フライドポテト、冷やしパインなどの屋台、北山キャンプ場様の火おこし体験や薪割り体験、サガン鳥栖様のキックターゲット、レインボーハウス様のお菓子販売、Mom'sBagle様のベーグル販売、あしかり豆美人様のプリン販売、など、たくさんのご協力をいただきました。オリジナルシロップを使ったカフェ「GOOD」様では、英語でオーダーを楽しんでいました。



保育コースは手作りの輪投げや、ヨーヨーすくいなどのわくわく広場を運営、多くの子どもたちに大人気で行列ができていました。また保育コース生徒たちによる絵本の読み聞かせや劇でも集まった子どもたちを楽しませていました。親子で参加できる「キャラ弁講座」も大好評でした。



また、浄土真宗本願寺派佐賀教区様からはお稚児さん体験やお坊さんと話すコーナーを出していただきました。

各部活動生徒もイベント運営を行いました。バスケットボール部はバルニアーズU18との合同練習会を実施、バルタンも駆けつけてくれました。野球部はTバッティングを実施、子どもたちが一生懸命ボールを打っていました。柔道部・剣道部は親子ができる柔軟体操、ダイエットにも効果的だとか・・・。サッカー部は日頃お世話になっているサンポー食品株式会社様の商品を売り子さんで販売、完売しました。



暑い中でしたが、500名を越える方々にご来場いただき、たくさんの笑顔と元気をいただきました。また来年も開催予定です。

ご来場いただいた皆様、ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

(文責 不二見)





龍谷 SPORTS & CULTURE

【テニス】

第51回佐賀県高校学年別テニス大会(8月11日~13日・SAGAサンライズパーク庭球場)

男子シングルス

準優勝 松本涼太郎 (②城 北)
5位 横 侑聖 (②東与賀)

男子ダブルス

優 勝 松本涼太郎 (②城 北)
横 侑聖 (②東与賀)

【剣道部】

第70回全九州高等学校剣道競技大会(6月30日~7月2日・山鹿市総合体育館)

女子団体 ベスト8

大田 梨華 (③龍 谷)
西川 希梨 (③東与賀)
小川 なな (②龍 谷)
友永 心絆 (②相 知)
橋橋 優那 (②大 和)
橋本 真央 (②小 城)
川内丸美緒 (①龍 谷)

女子個人

3位 小川 なな (②龍 谷)
1回戦敗退 橋橋 優那 (②大 和)
男子個人
2回戦敗退 川内 夢翔 (②神 境)
3回戦敗退 野中 遥稀 (②神 境)
1回戦敗退 弓 翔太 (②北茂安)

玉竜旗剣道大会(7月26日~29日・照葉積水ハウスマリーナ)

男子団体 ベスト8

小西 武 (③飯塚日新館)
川内 夢翔 (②神 境)
野中 遥稀 (②神 境)
古川 雄大 (②大 和)
森口 純瑛 (②西宮 塩瀬)
弓 翔太 (②北茂安)
平田 謙心 (①龍 谷)

第70回全国高校総体剣道大会(8月3日~6日・よつ葉アリーナ十勝)

女子個人

2回戦敗退 小川 なな (②龍 谷)

第45回大麻旗争奪剣道大会(8月3日~4日・SAGAプラザ総合体育館)

男子団体 3位

川内 夢翔 (②神 境)
野中 遥稀 (②神 境)
古川 雄大 (②大 和)
弓 翔太 (②北茂安)
平田 謙心 (①龍 谷)
奥山 晃英 (①龍 谷)

女子団体 ベスト8

友永 心絆 (②相 知)
橋本 真央 (②小 城)
川内丸美緒 (①龍 谷)
安達 心希 (①三 瀬)
大曲 遥寧 (①龍 谷)
宮崎 優亞 (①龍 谷)

令和5年度国民体育大会・第43回九州ブロック大会(8月20日・レゾナック武道スポーツセンター)

女子団体 2位

小川 なな (②龍 谷)
橋橋 優那 (②大 和)

男子個人

5位 弓 翔太 (②北茂安)

【陸 上】

令和5年度 第56回佐賀県高等学校新人陸上競技大会(9月16日~17日・SAGAサンライズパーク)

男子走高跳 1m80

2位 福山 直

男子やり投 44m19

3位 辻 直輝

八種競技 2位 4250点**男子三段跳 12m99**

3位 永渕 凱都

女子100mH 16.23

2位 海老原もえ

【ソフトテニス】

令和5年度佐賀県高校生夏季ソフトテニス選手権(8月23日・SAGAサンライズテニスフィールド)

男子団体 ベスト32

米村 龍 (①城 南)

小池 和正 (①城 西)

【自転車競技部】

第58回全国都道府県対抗自転車競技大会(9月8日~10日・Odds Park TAKEO/オートボリス)

女子ケイリン

4位 原 愛華 (②川 登)

令和5年度全国高等学校総合体育大会自転車競技(8月6日~9日・函館競輪場/函館市特設口一ドコース)

男子1kmタイムトライアル

31位 松尾 研司 (③武 雄) 1分11秒309

男子4km速度競争

準決勝敗退 小林 優太 (②肥 前)

女子ケイリン

予選敗退 原 愛華 (②川 登)

女子個人ロードレース

途中棄権 原 愛華 (②川 登)

2023年九州自転車競技選手権大会(7月15~17日・Odds Park TAKEO/HSR九州)

女子ケイリン

4位 原 愛華 (②川 登)

女子スプリント 13秒457 (予選タイム)

4位 原 愛華 (②川 登)

【水 泳】

令和5年度全九州高等学校体育大会水泳(競泳)競技大会(7月7日~10日・SAGAアクア)

男子200m個人メドレー 2分5秒26

1位 市丸 愛翔 (②成 章) (全国突破)

男子400m個人メドレー 4分28秒09

1位 市丸 愛翔 (②成 章) (全国突破)

令和5年度全国高等学校総合体育大会水泳(競泳)競技大会(8月17日~20日・野幌総合運動公園)

男子200m個人メドレー 2分5秒52

10位 市丸 愛翔 (②成 章)

男子400m個人メドレー 4分30秒10

予選敗退 市丸 愛翔 (②成 章)

第46回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会(8月22日~26日・東京アクアティクスセンター)

15~16歳男子200m個人メドレー 2分6秒78

予選敗退 市丸 愛翔 (②成 章)

15~16歳男子400m個人メドレー 4分24秒39

1位 市丸 愛翔 (②成 章)

15~16歳男子100mバタフライ 57秒26

予選敗退 市丸 愛翔 (②成 章)

第4回佐賀県高等学校新人戦(8月27日・SAGAアクア)

男子200m個人メドレー 2分3秒01

1位 市丸 愛翔 (②成 章)

男子400m個人メドレー 4分18秒93

1位 市丸 愛翔 (②成 章)

【書道部】

第57回記念高野山競書大会(8月4日)

高野山書道協会賞 西 竜平 (③北 方)

特 選 梶原 佑月 (②龍 谷)

準特選 小柳 優雅 (①武雄北)

銀 賞 梶原 葵衣 (①小 城)

銅 賞 松本 華 (③附 属)

銅 賞 中島 百音 (①東与賀)

銅 賞 中津海珊瑚 (①腹 栄)

第22回岐阜女子大学全国書道展(9月10日)

特 賞 西 竜平 (③北 方)

優秀賞 梶原 佑月 (②龍 谷)

優秀賞 梶原 葵衣 (①小 城)

優秀賞 松本 華 (③附 属)

秀 作 中島 百音 (①東与賀)

秀 作 中津海珊瑚 (①腹 栄)

努力賞 小柳 優雅 (①武雄北)

努力賞 永田明日香 (①成 章)

【吹奏楽部】

第64回佐賀県吹奏楽大会(7月21日・佐賀市文化会館大ホール)

金賞 佐賀県代表

第68回九州吹奏楽コンクール(8月27日・熊本県立劇場コンサートホール)

金賞

第47回佐賀県高等学校音楽コンクール(8月16日~17日・佐賀市文化会館中ホール)

金賞 田中 大輝 (③昭 栄)

金賞 陣内 咲希 (③城 南)

金賞 橋口 遥咲 (③神 境)

金賞 山口 晴也 (③城 西)

【個人エントリー】

第47回佐賀県高等学校音楽コンクール(8月17日・佐賀市文化会館中ホール)

金賞 渡部 創 (②佐大付属) (佐賀県代表)





龍谷 SDGs なう



『龍谷中学校高等学校SDGs行動憲章』4つの柱に基づき、SDGs推進教育を行っています。

学校法人佐賀龍谷学園龍谷中学校高等学校SDGs行動憲章

- ①持続可能な社会を創造できる人を育成する教育を提供します
- ②持続可能な社会を創造できる人を育成する教育の場を創造します
- ③持続可能な社会を創造する地域の実現に貢献できる地域の基盤となります
- ④理想的な生徒の育成を実現するために教職員のディーセントワークを実践します



龍谷総合学園『仏教×SDGs2023』in京都に参加しました！（会場:京都市聞法会館 8月23日～25日）



参加者：中高一貫理数グローバル4年金色ひより（理数④龍谷）、黒尾丸明咲（理数④龍谷）、西村知世（理数④龍谷）

○龍谷総合学園主催の高校生交流会が今年4年ぶりに対面開催となりました。全国から集まった15校61名生徒が参加。今年のテーマは『身近な「食」から考える異文化』でした。

身近な「食」を取り上げ、そのルーツについて調べる事前学習をし、初日に発表をしました。

本校は、『イカした精神』と題して、捕鯨からイカ漁への転機、イカの活け造り発祥の地となった呼子で事前学習をし、今も佐賀で息づく『もったいない・命を余すことなくいただく精神』をプレゼン発表しました。

【生徒感想】 佐賀の「イカを如何に生かすか」という『イカした精神』が今も受け継がれていることを多くの生徒に伝えられてよかったです。「生き物を大切に扱う」という観点には『食べない』『丁寧に命をいただく』という2つの視点がある。後者について良く理解できるプレゼンだった」と好評をいただき嬉しかった。（西村）

○人と宗教をつなぐ媒介としての「食」について考えました。

「禅の精進料理とは？」を学び、三徳六味最後の淡味を重視していることや永平寺の食事作法を知りました。インドの食事で重視される「ジューター」（穢れ）の概念を学び、右手「清浄」左手「不浄」を意識して昼食のカレーをいただき、異文化体験をしました。

【生徒感想】 宗教的な食事方法として食べられるものと食べられないものがあることを知りました。その中で、断食、供犠、共食の3つの理解と共有が大切だと思いました。宗教によって様々なマナー・タブーがあることを初めて知り、試してみることで自分なりに理解できるようになると思いました。（金色）

○参加者全員が8班のチームに分かれ事前学習のブラッシュアップとして、3日間かけて作った「SDGs弁当」案の発表を行いました。本校生徒グループもSDGs賞（西村team）、宗教・地域文化賞（金色team、黒尾丸team）をいただきました。

【生徒感想】 メンバーの出身都道府県で、気候変動によって無くなりつつある食材や調味料を使ってお弁当案を作りました。講師の方に「ある都道府県で採れたものを別の都道府県の調味料を使うなどの工夫がされていた」とコメントをいただき、嬉しかったです。

ESD教育「天ぷら油でモーターカーを動かそう」in佐賀

7月28日

昨今耳にするようになった SAF (Sustainable Aviation Fuel) 「持続可能な航空燃料」・次世代の航空燃料について学び、廃油からバイオディーゼル生成科学実験を行いました。日本青年会議所地域グループ地球環境委員会委員長の外館友之さん・副委員長の瀧口大輔さん・委員の菊池恭平さんをお招きして生徒たちが実験後、実際にモーターカーを動かしました。今後も、地球環境に配慮できる人として育っていくことを期待します。

『身近な資源が循環するMOTTAINAI運動』・『未来の燃料SAFについて』

【生徒感想】

- ・私は以前、バスに乗った際に揚げ物油を使って走っているというアナウンスを聞いたことがありましたが、飛行機にも使えるとは思わなかったのでとても驚きました。また、実際に油で走るモーターカーに乗ってみて、普通のゴーカートと同じくらいのスピードが出ていて、すごいと思いました。これからこのような活動が広まってくれたらと思います。（鐘ヶ江佳大 理数④龍谷）
- ・家から出た廃油は寄付しようと思いました。また、二酸化炭素の排出量を減らすため、エアコンの設定温度を調節したり、ゴミの量を減らしたり工夫をしようと思いました。（篠崎姫花 理数①新栄）
- ・私の家では料理等に使った廃油は自転車などの整備に使用したり、栄養価が高いので堆肥作りに使用したりしていました。しかし、外食に行った時、とても多い量の油を使っているのを見かけます。今日の講話を聞いて、この油はどうしているのだろうと思いました。今後、講師の方のようにSAFのことを広める活動をしていきたいと思います。（服部季蓬里 理数①北川副）



一人ひとりの力が、光り輝く

龍谷中学校
中高一貫



大いに盛り上がった「イングリッシュ・デイ」

9月16日(土)、「イングリッシュ・デイ」が開催されました。

本校のネイティブ教師2名に加え、県内で活躍されるALT4名が来校され、英語に慣れ親しむ活動を行いました。

この日理数グローバル中高生は、日本語を話さず、英語のみで生活することに挑戦。ゲストALTの出身国に関するインタビュータイムはもちろん、一緒にポスター作成をする時も英語でコミュニケーションをとるなど、普段の生活との違いに戸惑いながらもワイワイ・ガヤガヤと楽しそうに取り組んでいました。中には、積極的に話しかけたり、答えた人にいて、間違いなど気にせずに挑戦する姿がうかがえました。

最後は、講堂に集まり、作成したポスターをiPadで撮影し、それをスクリーンに映し出してプレゼンテーションを行いました。

土曜日の午前中という限られた時間でしたが、笑顔の絶えない楽しい時間となりました。
(文責 松尾)



頼もしいぞ！ 大学生チユーダー

今年から中高理数グローバルで学ぶ生徒さんに「頼れる味方」が加わりました。それは、「大学生チユーダー」の存在です。

佐賀大学で学ぶ現役大学生・大学院生の17名が、基本的に週3回、放課後の時間帯（2時間）に学習サポートしています。

授業の振り返りや宿題の質問対応から勉強の仕方、大学受験に向けてのアドバイスや大学生活のことなど、いろいろな質問に優しく丁寧に答えてくれています。

学校の先生と違い、年齢も近いことや若者ならでは共通の話題など、気軽に話しやすいことが生徒のみなさんにも人気のようです。

夏休み中の夏期特課でも、個別サポートに入るなど活躍の機会が増えています。若くて新たな視点も加わり、生徒さんの今後の成長が楽しみです。

(文責 久我)

爽やかに舞い、走り、笑顔いつぱい

一致団結、「体育祭」

9月7日(木)、「体育祭」が中学・高校合同で開催されました。

中学生は、夏休み中から応援・演舞リーダーを中心に、各グループに分かれて練習を重ねてきました。今年の夏も連日猛暑続きだったため、教室内でダンスの映像を電子黒板に映し出し、細かい振り付けの確認をしたり、声をそろえて応援する練習をしたりと、暑さ対策に気を配りながらの準備となりました。

おかげで、当日は元気はつらつとした中学生のダンスや演舞、そして競技する姿がみられました。中学三年生が随所でリーダーシップをとり、見事に下級生をまとめて、とどまどまりのある集団となり、全員で取り組む「かつこいい」姿が印象的でした。

(文責 松尾)



「朝の参拝」が行われています。

生徒・教職員は共に、「聖典」・「念珠」を手にし、勤行（ごんぎょう）します。そして、法話（講話）を聴聞（ちようもん）して、いろいろなテーマについて考える機会ともなっています。

龍谷に学ぶ者として、心静かに手を合わせ、自らを見つめる大切な時間となっています。

(文責 松尾)



九州龍谷短期大学に進学するとこんなメリットがあります！

九州龍谷短期大学では、龍谷高等学校卒業生の方が入学される際に入学金の全額免除を行っています。また、入学後に2年間で48万円の給付型奨学金を付与しております。進路について悩んでいる方は是非一度本学へ足を運んでみてください！小規模な大学ならでは教員との距離の近さやアットホームさを感じることができますよ！

**個別相談会を開催します！
11/4(SAT) 12/2(SAT)**

全日10:00～12:00の間で個別相談を実施します。本学ホームページよりご予約をお願い致します。夏季休暇中にオープンキャンパスに参加できなかった…という人の参加も大歓迎です！

九州龍谷短期大学の公式Instagramをご存知ですか？
学生の様子やオープンキャンパスの様子、入試情報など様々なお知らせをお送りします。

九州龍谷短期大学
学園だより
鳥栖市

佐賀龍谷学園が設置する学校（短大・高校・中学）に、兄弟姉妹が二人以上在籍する場合、二人目以降のお子様の入学金が減免されます。
詳しいことは、各学校事務室までお問い合わせください。



←保育学科1年生3名が鳥栖市社会福祉会館夏祭りにてオペレッタ『ヘンゼルとグレーテル』を上演したときの様子



@K_RYUKOKU_TANDAI

幼保連携型 認定こども園

九州龍谷短期大学付属

龍谷こども園

メニュー ①折り紙教室 ②看護師さんのお話 ③新聞紙遊び ④音楽遊び ⑤サッカー場で遊ぼう など
完全予約制（当日参加もOK!）です。ぜひ、こども園までお越しください。

◎2024（令和6）年からの入園受付開始（令和5年11月1日～）1号園児（教育認定）はこども園へ、2・3号園児（保育認定）は市町へ申し込みます。
◎こども園では、毎週火曜日に未就園児を対象とした「子育てサロン」を開催しています。



▲私たち大きくなったかな。
2人で体重計に乗ってます。



▲みんなでお絵かきを楽しみました。



▲素敵な靴を履きました。
皆さんに分かるかな？



▲秋の遠足で、
森林公園に行きました！

みんなで大変身！

新聞紙戦隊○○レンジャー！！



▲10月は、運動会。
リレーを楽しんでいます。